



司会の瀧田さん

竹内市長 長年、子どもたちのスポーツ交流や、女性

に行き、総理あてに要請をしました。

姫路市は、重工業の立地を背景に、姫路工大などの大学で産業につながるような研究や活動が行われています。鳥取市にも、鳥取大学や鳥取環境大学がありますが、これらの大学との接点も十分に築きながら地域の産業興しを行いたいと思っています。姫鳥線にはそうした効果が期待できると思います。

それと、鳥取には全国に知られた砂丘があります。これは本当に大きな可能性を秘めた観光スポットだと思っています。砂丘を中心とした、温泉という天然の資源、そして日本海の食べ物、さらには海浜の美しさとか夏の海水浴など、豊かな自然に恵まれた鳥

取の観光資源も姫鳥線が開通すれば大きく花開いていくと考えています。

姫鳥線を一つの柱としながら、「産業鳥取」「観光鳥取」をぜひ実現していきたいと思っています。

雲山助役 姫路市も、姫鳥線の早期完成めざし、国・県に強く要望しているところです。産業面、観光面、文化面などあらゆる面での交流は、流通から始まります。鳥取と姫路が近くて遠い姉妹都市ではなく、本当の意味で近くて盛んに交流をするためには、流通を促進する姫鳥線の早期完成が何よりも必要だと思えます。

### これからの交流

司会 なるほどよくわかりました。それでは、このたび三十周年という大きな節目を迎えて、

これからの交流はどのような方向に進むべきだとお考えですか。  
竹内市長 長年、子どもたちのスポーツ交流や、女性

団体あるいは自治会の交流などが続けられています。また、しゃんしゃん祭や姫路のお城祭りにお互いに参加しております。これらの交流も大切ですが、姫鳥線が開通すれば、姫路を訪れた観光客が鳥取まで足を伸ばす可能性が高くなると思いますので、ぜひ観光面で更なる連携・交流をお願いしたいと思っています。

もう一つは、環境大学を開学するなど、鳥取市は環境を大きなテーマとして位置付けていますので、産業界として発展している姫路市の大学などで行われている研究や活動と連携して、さまざまな情報発信を一緒にやれると非常にいいなと思っています。

いずれにしても、具体的に検討を深め、幅広い分野で新たな交流を切り開いていきたいと思っています。

雲山助役 今は経済が非常に厳しい状況が続いておりますね。そういう中で、どうしたらまちに元気が出て、また元気を拡大していけるかと考えた場合に、人の集いというか集まりが必要だと思えます。

そして、にぎわいを創出し、広く情報発信をしていく必要があります。それがまた人を呼び集めて元気を生み出す源になるのではないのでしょうか。

姫路市は今、さまざまなイベントを行ってにぎわいを創出し、元気を出そうとしています。映画取りをしようというためにフィルムコミッションも設立しました。姫路も元気になり、鳥取も元気になる。

そういった交流をお互いに情報交換をしながら、今から取り組んでいく必要があるのではないかと思います。

司会 これからの交流が楽しみですね。本日は、ありがとうございました。

この対談の様子は、一月三日（金）～六日（月）午後二時三十分からと、午後十時三十分から「いなびりびよんチャンネル」で放送します。



竹内市長